

2022(令和4)年8月 実施

第51回 足立区政に関する世論調査 《概要版》

足立区では、昭和47年から区民の方を対象とした世論調査を実施しており、今回は第51回となります。世論調査の実施にあたっては、多くの区民の皆様にご協力いただき心からお礼を申し上げます。調査結果は、区政運営のための基礎資料として今後の施策に活用してまいります。なお、「第51回足立区政に関する世論調査」の全容をお知りになりたい方は、区のホームページ、区内の各図書館及び区役所区政資料室でご覧いただけます。

今回の調査では、区政全体に対する【満足層】（「満足」+「やや満足」）は7割弱で現行と同じ聴取方法となった平成25年以降で最も高い割合となりました。

区の取り組みについては、重要度が平均値より高いが現状評価（満足度）が低い分野として、「交通対策」「防災対策」「障がい者支援」「学校教育対策」「高齢者支援」があげられています。

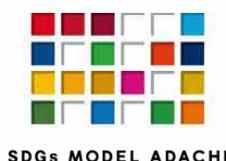
また、継続的に聴取している「居住地域の治安状況」が【良い】と感じている人は6割台半ばで、この5年間は毎回最高値を更新しており、本設問を開始した平成23年に比べて約25ポイントの増加となっています。

調査の概要

- ◇対象者 …… 18歳以上の区民
- ◇対象者の抽出 …… 単純無作為抽出法
- ◇対象者数 …… 3,000人
- ◇調査方法 …… 郵送配布、郵送またはインターネットによる回答
- ◇回収数(率) …… 1,531人 (51.0%)
- ◇調査時期 …… 2022(令和4)年8月

- 定住性
- 大震災などの災害への備え
- 洪水対策
- 区の情報発信のあり方
- 健康
- スポーツ・読書
- ビューティフル・ウィンドウズ運動
- 環境・地域活動
- 「孤立ゼロプロジェクト」など
- 「協働・協創」・「SDGs」
- 区の取り組み

知ると分かる。すると変わる。



2023(令和5)年3月



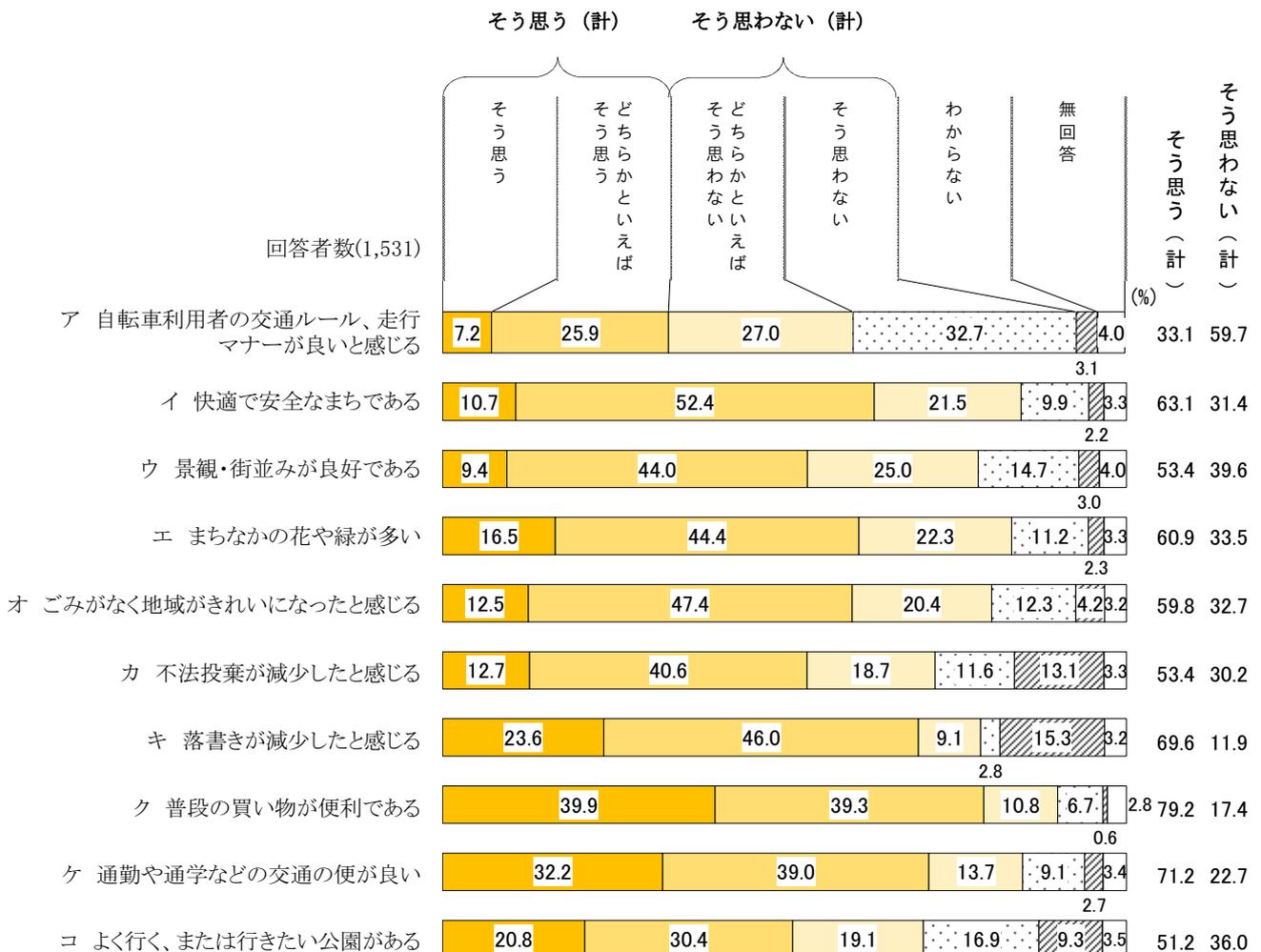
定 住 性

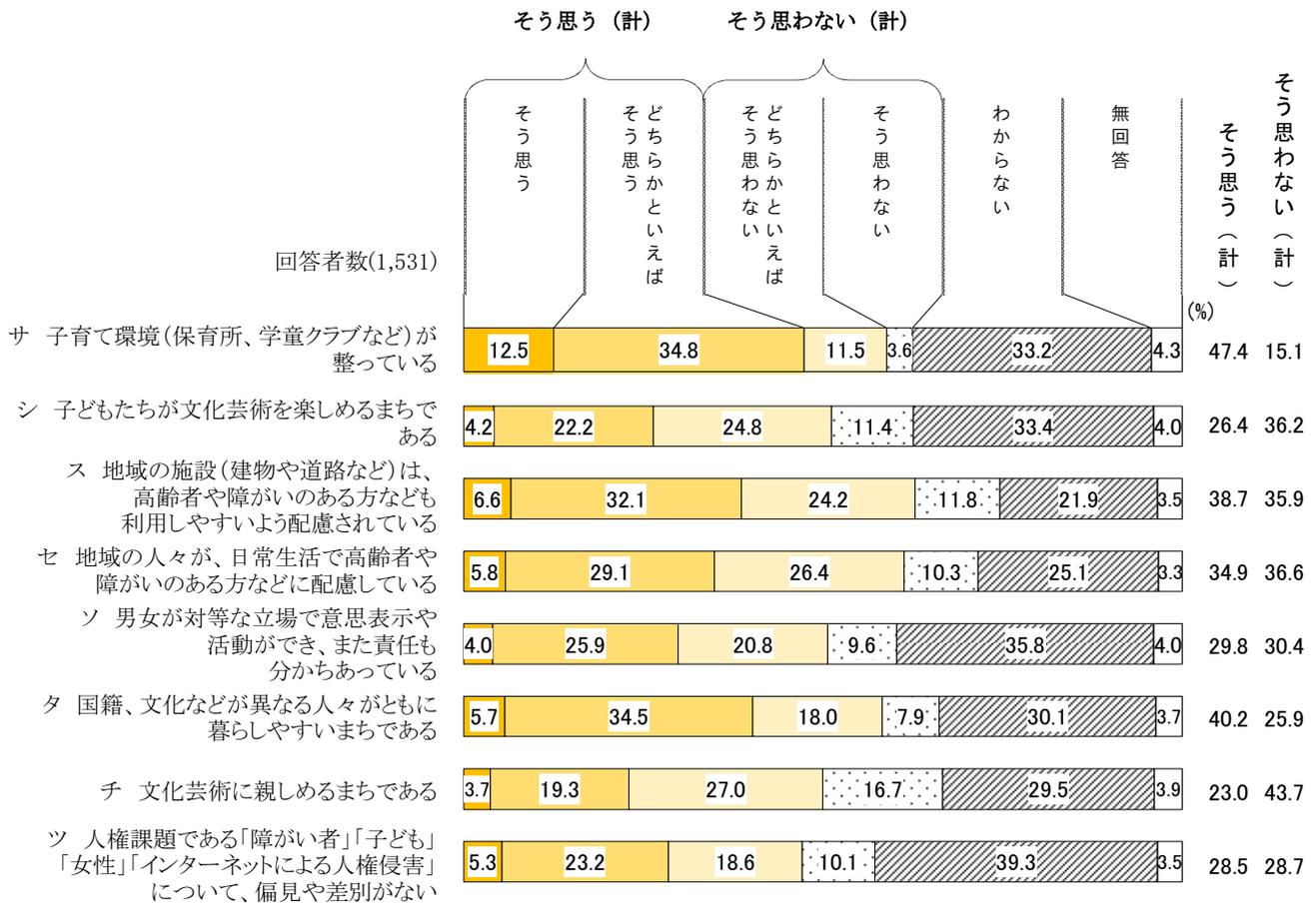
住んでいる地域について感じていることについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】の高い順でみると、以下のとおりです。

- ① 〈普段の買い物が便利である〉 (79.2%)
- ② 〈通勤や通学などの交通の便が良い〉 (71.2%)
- ③ 〈落書きが減少したと感じる〉 (69.6%)
- ④ 〈快適で安全なまちである〉 (63.1%)

住まいの地域についての感じ方

【普段の買い物が便利である】と感じている人は、約8割となっています。



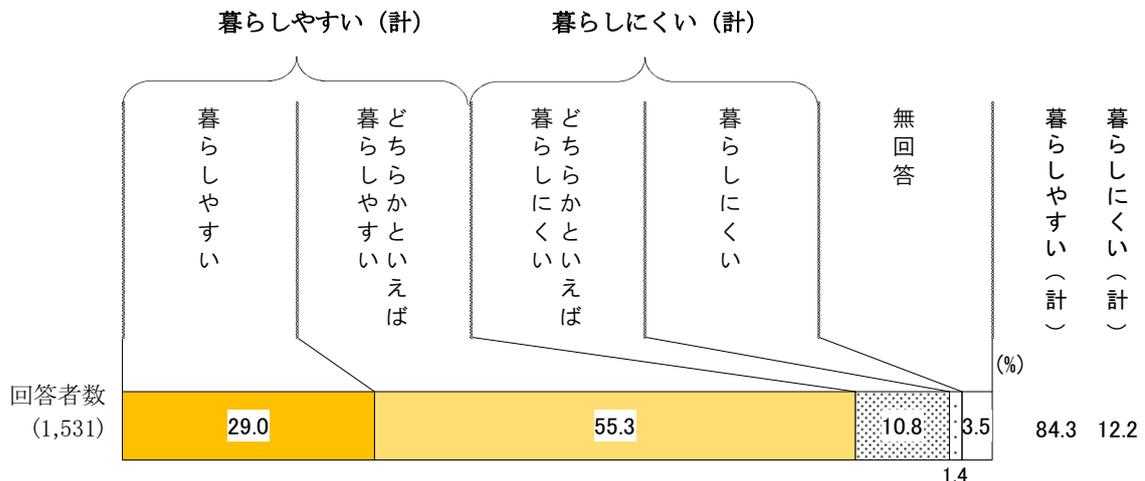


参考1： 百分比(%)と百分比(%)を合わせる場合、本来の実数値を合わせて算出した百分比を記しているのので、その百分比は紙面上の百分比の合計と合わない場合があります。

2： 表題に(複数回答)と表記されている場合は、回答数に制限がないことを意味しています。

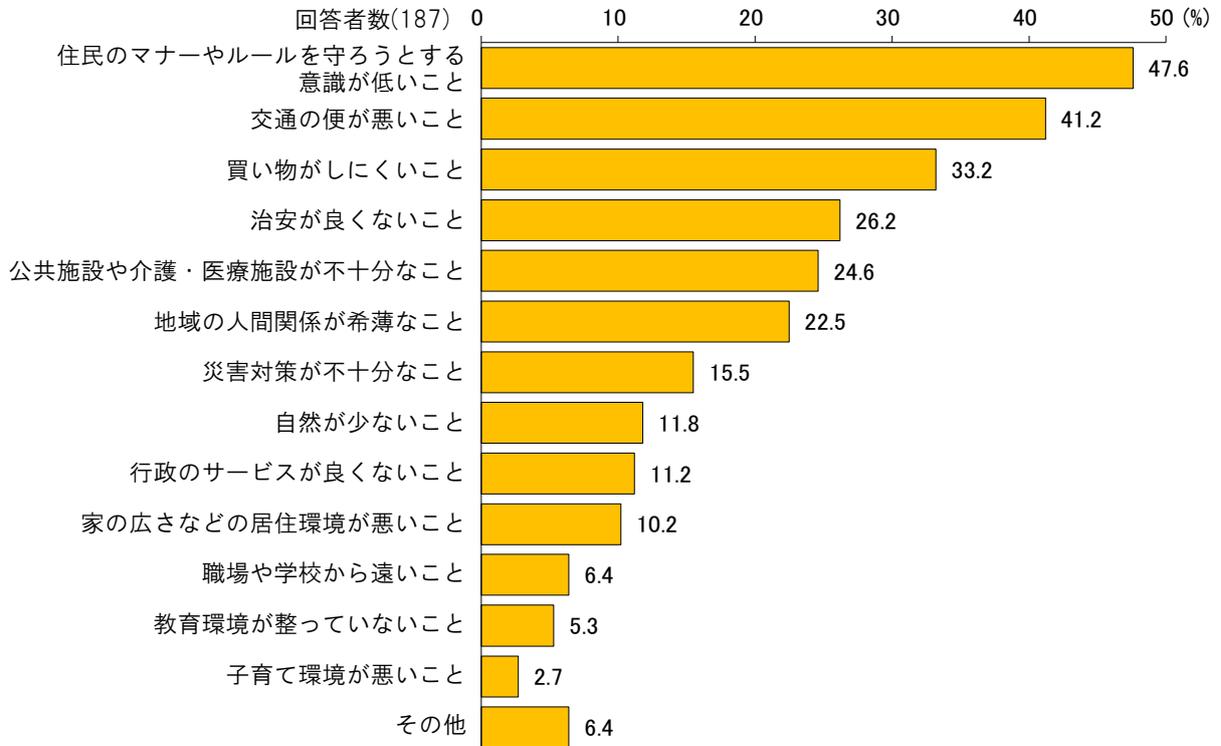
🏠 地域の暮らしやすさ

【暮らしやすい】は昨年と比べ微減となりましたが、【暮らしにくい】は調査開始以降最も低い割合となっています。



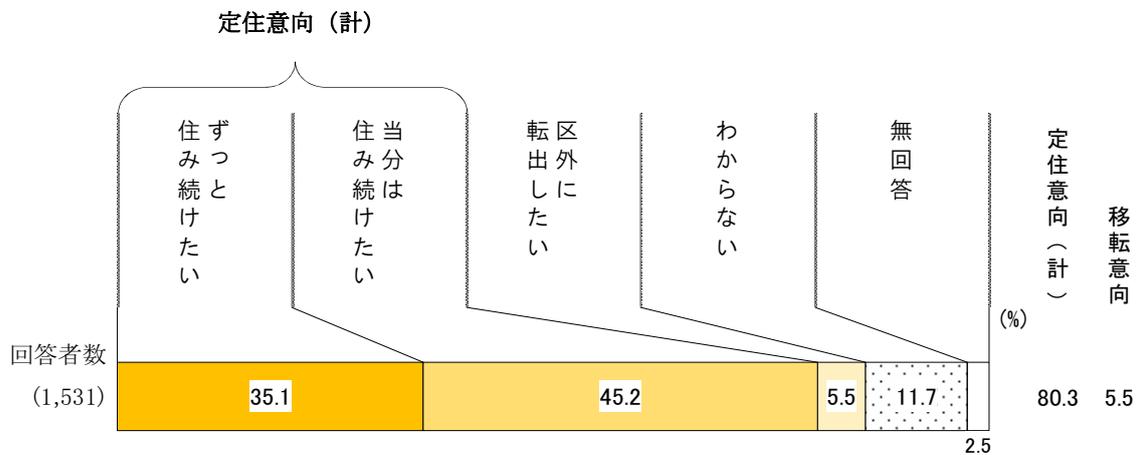
🏠 特に暮らしにくいと感じること（複数回答）

「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」が4割台半ばを超えて3年連続で最も高くなっています。



🏠 定住意向

【定住意向】をもっている人は前回に続いて8割を維持し、最高値をさらに更新しました。

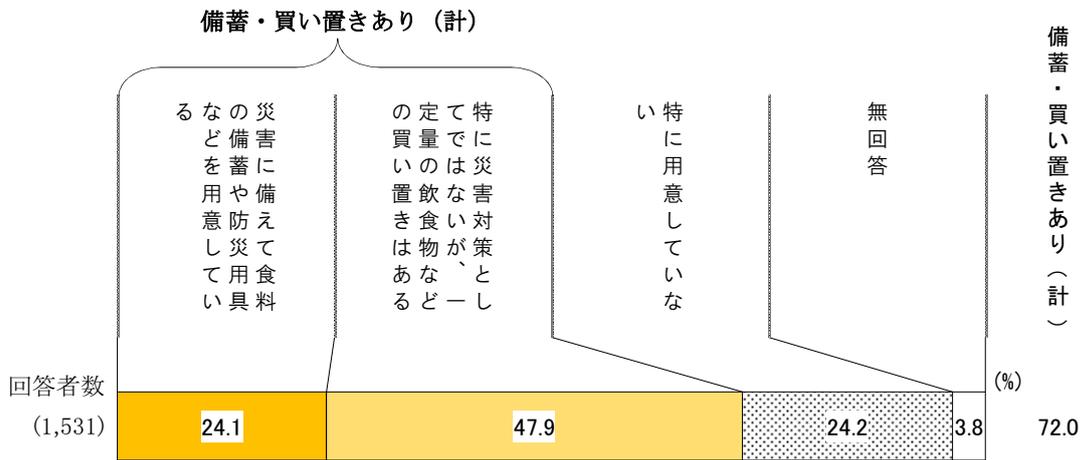


大震災などの災害への備え

- 1 災害に備えての準備状況については、「特に災害対策としてではないが、一定量の飲食物などの買い置きはある」が47.9%で最も高く、「災害に備えて食料の備蓄や防災用具などを用意している」が24.1%となっています。これらを合わせた【備蓄・買い置きあり】は72.0%となっています。
- 2 災害に備えて「特に用意していない」は24.2%となっています。
- 3 経年でみると、【備蓄・買い置きあり】は前回調査に比べて大きな違いはみられないものの、前々回調査から漸減しています。

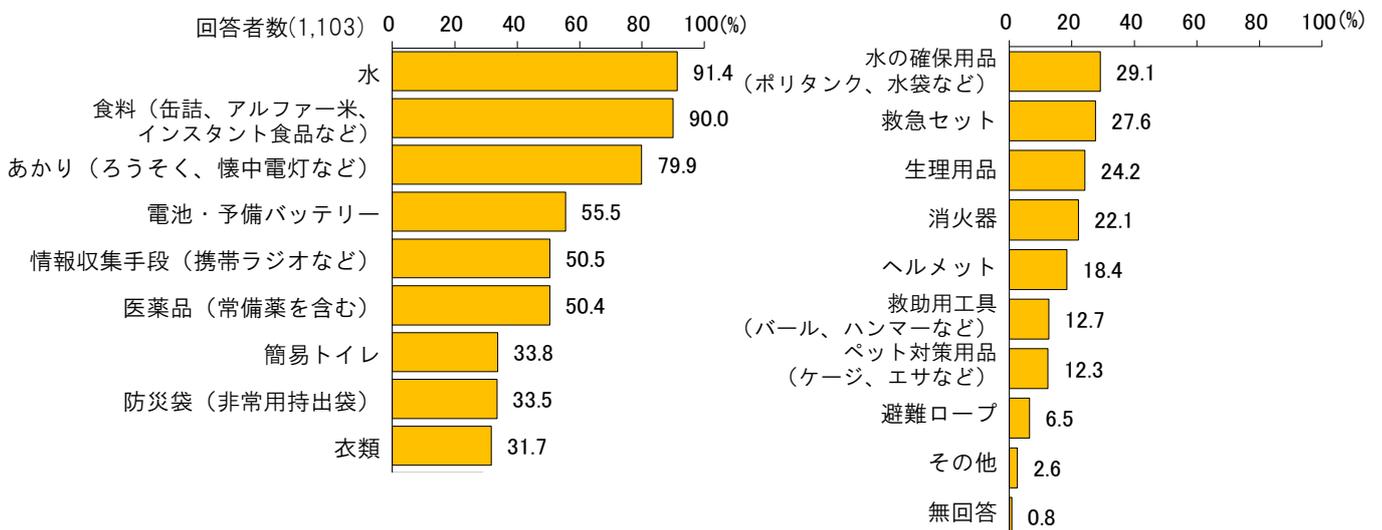
🏠 備蓄や防災用具などの用意

【備蓄・買い置きあり】の割合は7割強で、前々回調査から漸減しています。



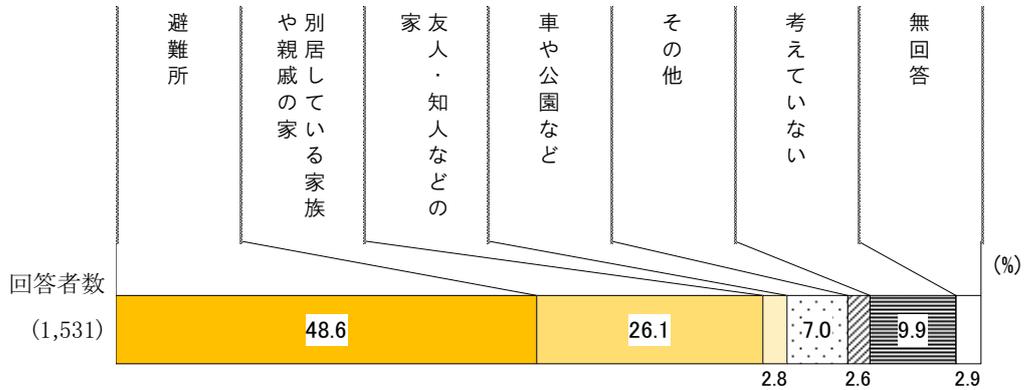
🏠 備蓄や防災用具、買い置きなどの内容 (複数回答) ※【備蓄・買い置きあり】の人の回答

「水」が9割強、「食料」が9割、「あかり」が8割で上位となっています。



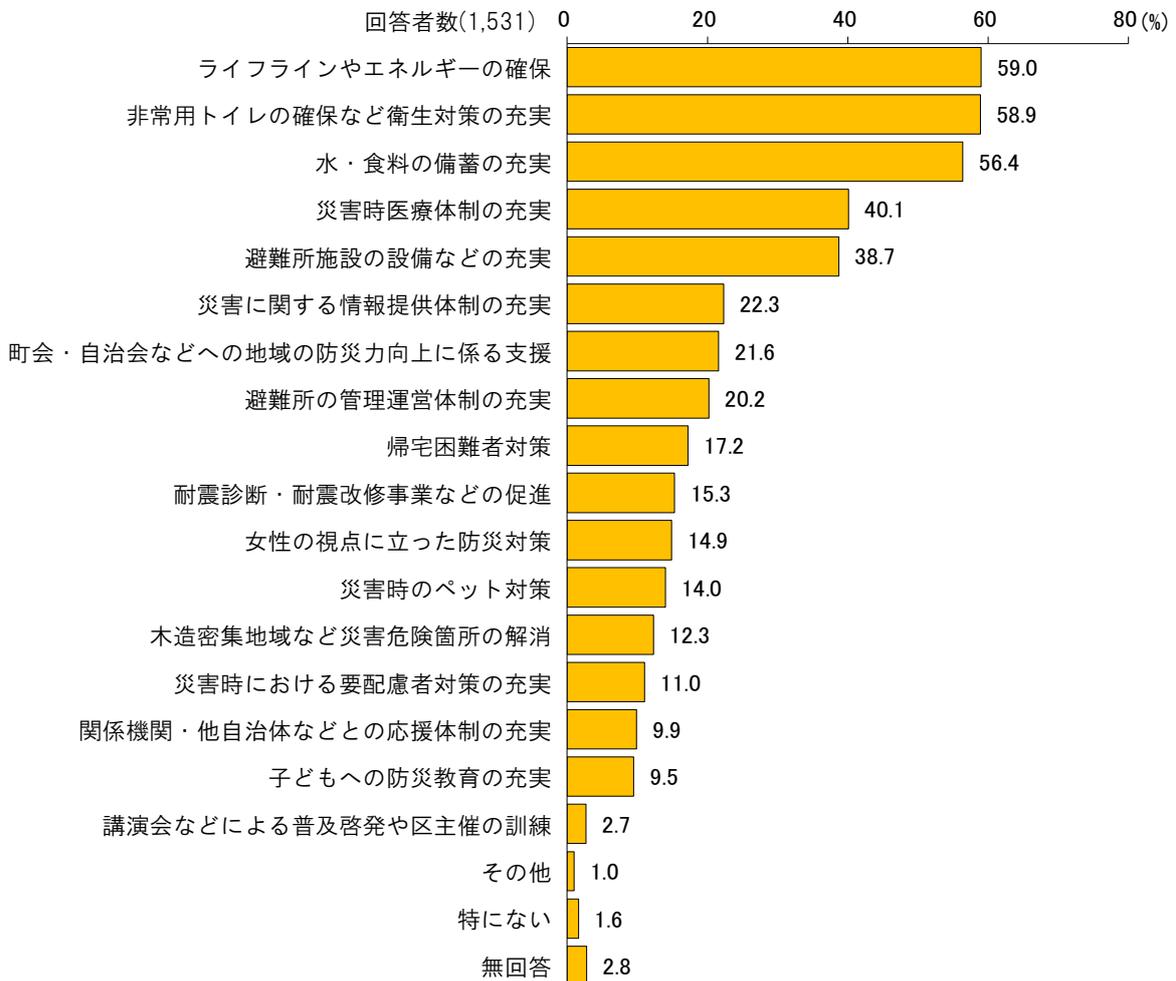
大規模災害時の避難生活場所

「避難所」が5割弱で最も高いですが、コロナ禍以前の3年間平均の5割台半ばに比べると低くなっています。



大地震の際の防災対策として区に力を入れてほしいこと (〇は5つまで)

「ライフラインやエネルギーの確保」と「非常用トイレの確保など衛生対策の充実」が約6割、「水・食糧の備蓄の充実」が5割台半ばで、例年同様に上位となっています。



洪水対策

- 『足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ』について、「見て、自宅の浸水深を確認した」が33.3%で最も高く、次いで「見たが、内容までは覚えていない」(32.9%)、「見て、内容は確認した」(23.9%)となり、これらを合わせた【見たことがある】は9割を占めています。
- 経年でみると、「見て、自宅の浸水深を確認した」が前回調査(28.7%)から4.6ポイント増加したことで、【見たことがある】では5.6ポイントの増加となり、平成27年度の調査開始以降、初めて9割台となりました。

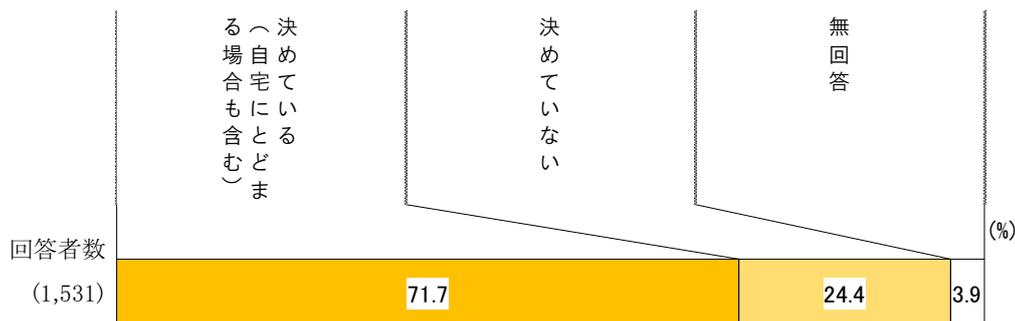
「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

『足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ』について、【見たことがある】は前回調査から5ポイント増加し9割となっています。



河川はん濫時における避難場所の事前決定有無とその避難場所・決めていない理由

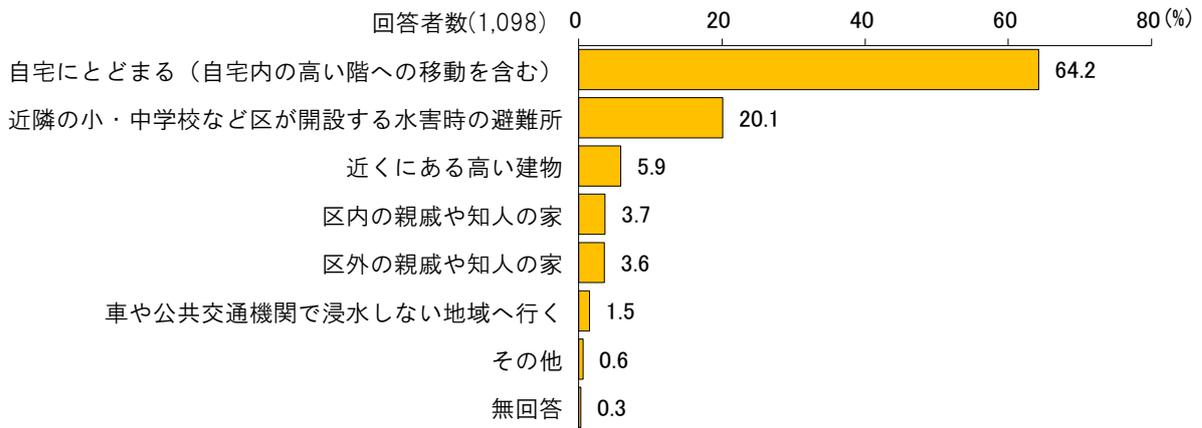
避難場所を事前に「決めている(自宅にとどまる場合も含む)」が7割強ですが、「決めていない」が前回調査から約5ポイント増加し2割台半ばとなっています。





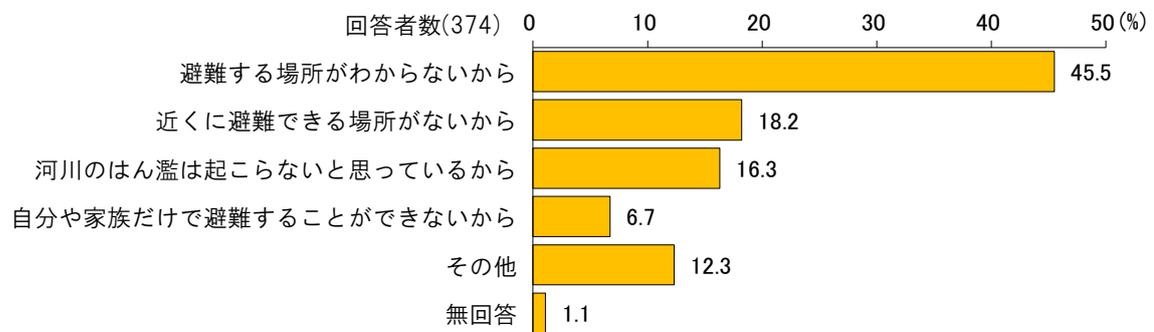
〈事前に決めている避難場所〉

※【事前に決めている】人の回答



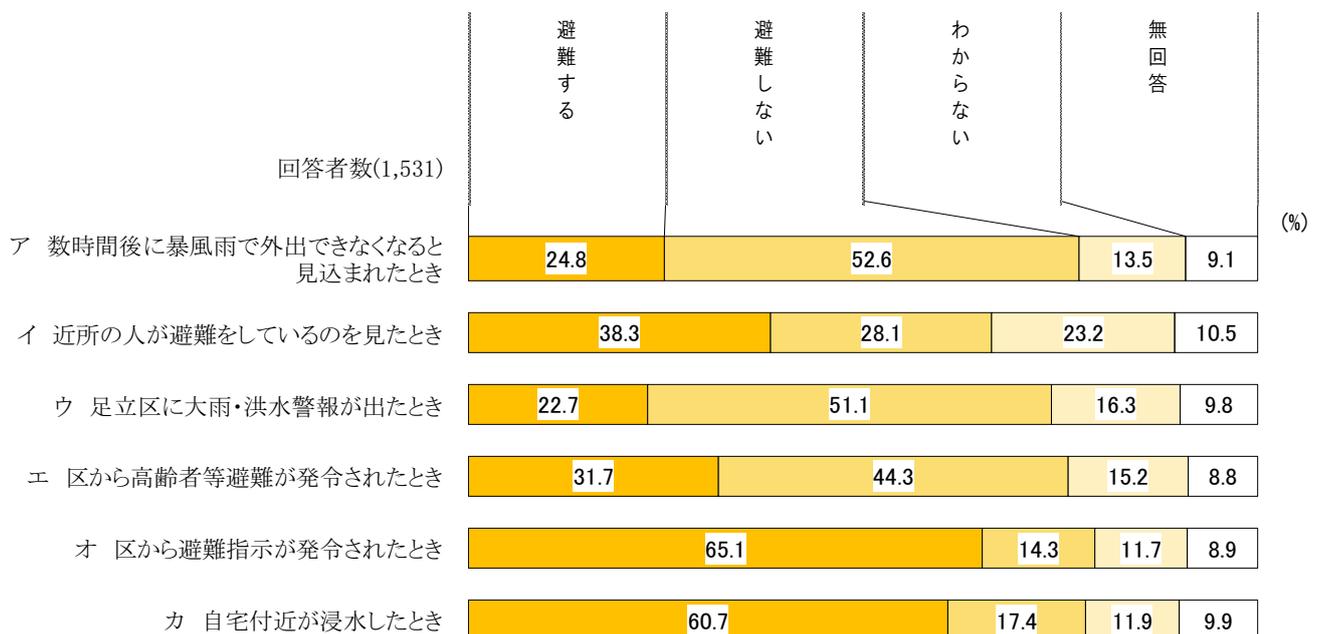
〈事前に避難場所を決めていない理由〉

※【事前に決めていない】人の回答



河川はん濫による浸水被害の際の対処

避難するという人の割合は、“区から避難指示が発令されたとき”が6割台半ば、“自宅付近が浸水したとき”が6割と高くなっています。



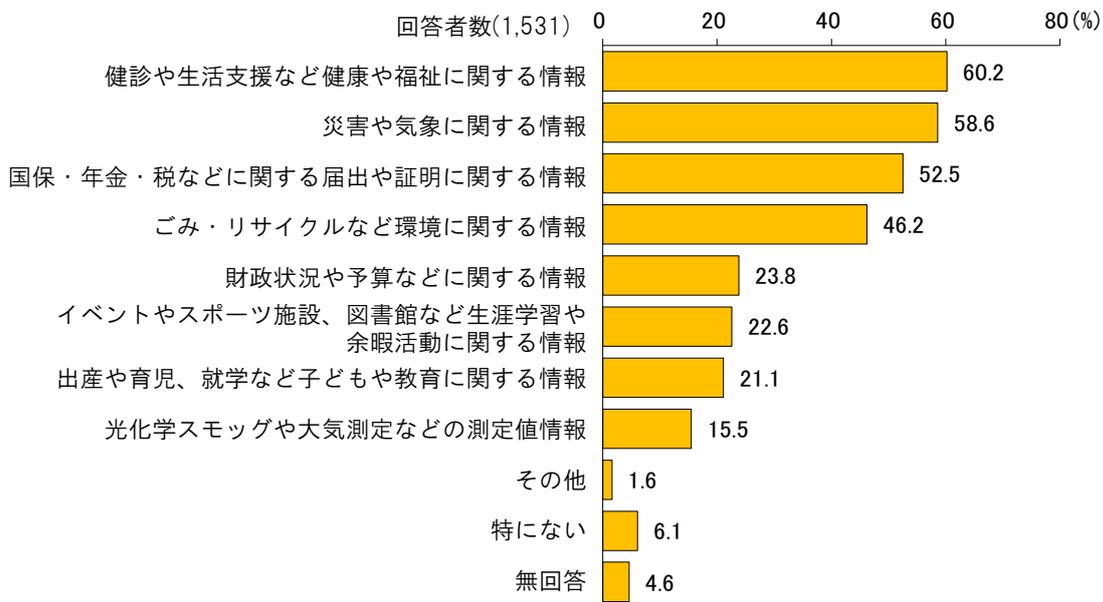
区の情報発信のあり方

足立区に関する情報の入手媒体の上位は以下のとおりです。

- ① 「あだち広報」 (67.1%)
- ② 「トキメキ」 (29.4%)
- ③ 「区のホームページ」 (25.7%)
- ④ 「町会・自治会の掲示板・回覧板」 (25.1%)

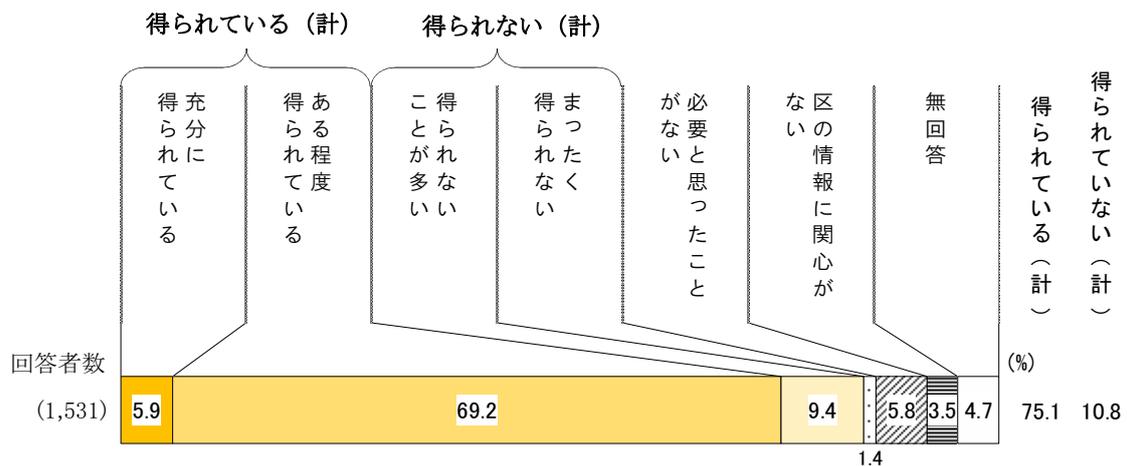
重要とする区の情報（複数回答）

「健康や福祉」と「災害や気象」が6割前後で上位となっています。



必要な時に必要とする区の情報入手状況

必要な時に【得られている】が7割台半ばとなっています。

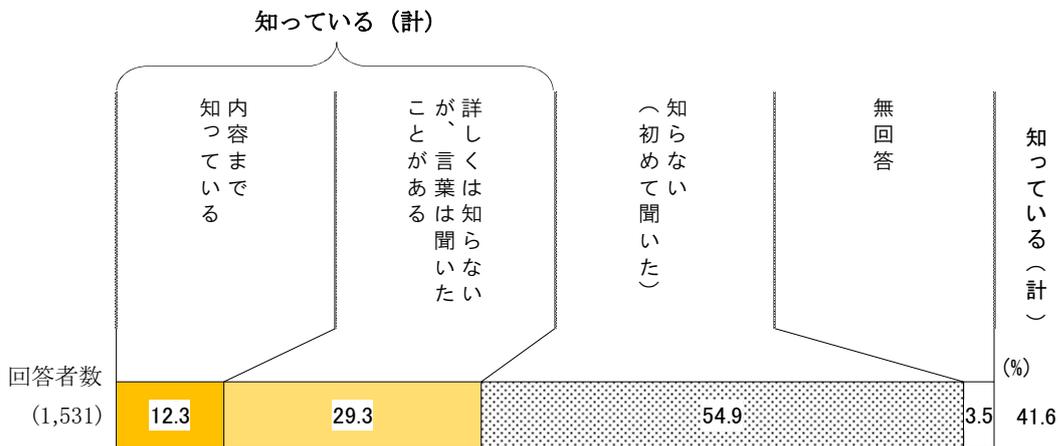


健康

- 1 区のキャッチフレーズ『あだちベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～』について、「内容まで知っている」は12.3%で、これに「詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある」(29.3%)を合わせた【知っている】は41.6%となっています。
- 2 区のキャッチフレーズを「知らない(初めて聞いた)」は54.9%となっています。
- 3 経年でみると、【知っている】は、前回調査から2.7ポイント増加し、平成29年調査の40.0%を上回る割合となりました。

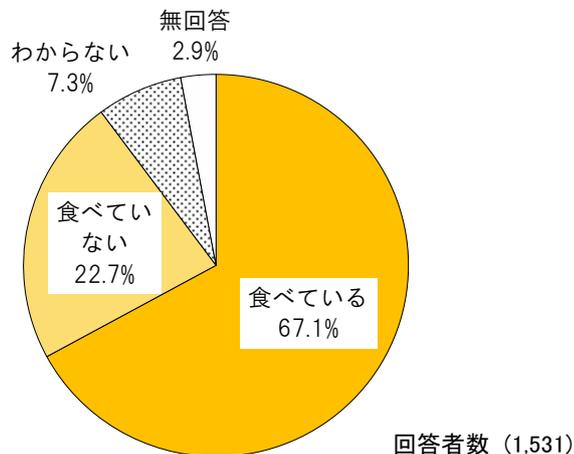
区のキャッチフレーズの認知状況

区のキャッチフレーズを【知っている】は4割を超え、最高値を更新しました。



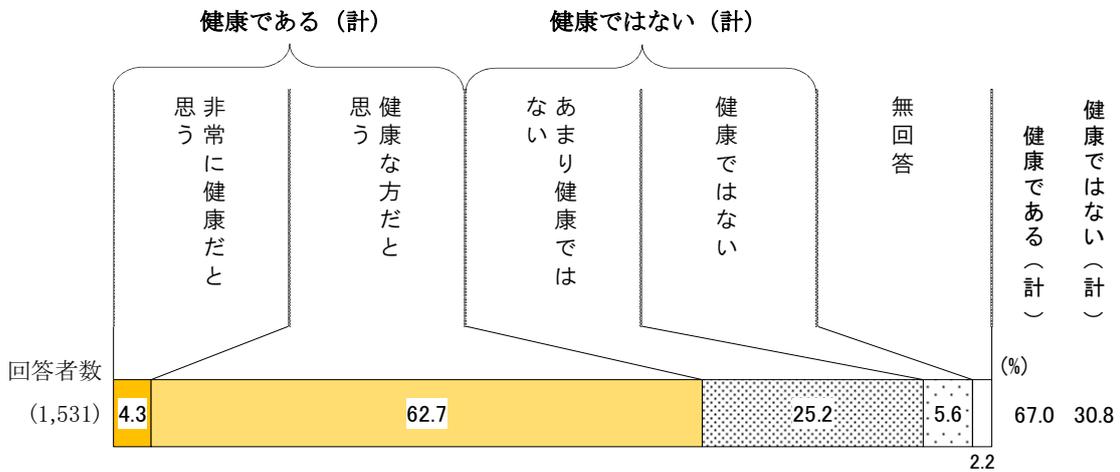
野菜から食べ始めることの実践状況

野菜から「食べている」人は6割台半ばを超えて変わらず推移しています。



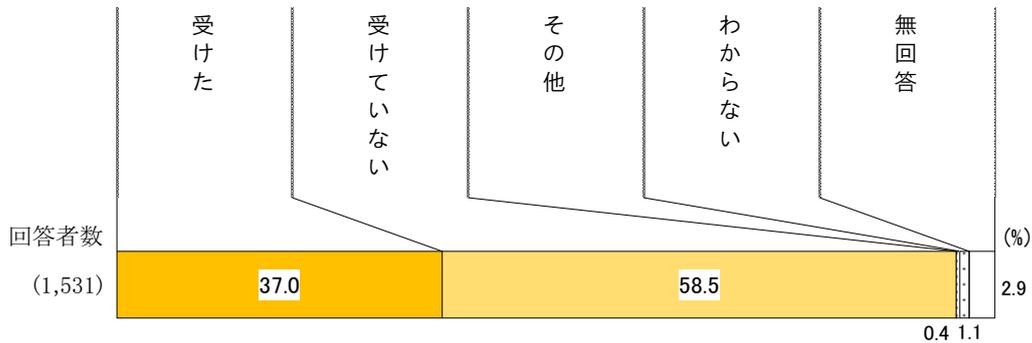
自分の健康自認度

自分は【健康である】と自認している人は、6割台半ばとなっています。



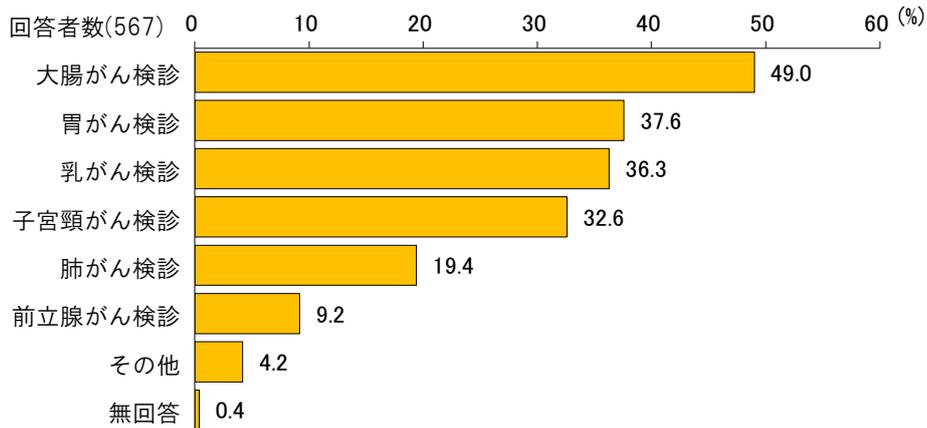
がん検診の受診状況

この1年間にがん検診を受けた人の割合は3割台半ばで、「受けていない」が6割弱です。



受けたがん検診の種類 (複数回答)

「大腸がん検診」が5割弱で最も高く、「胃がん検診」が3割台半ばを超えています。

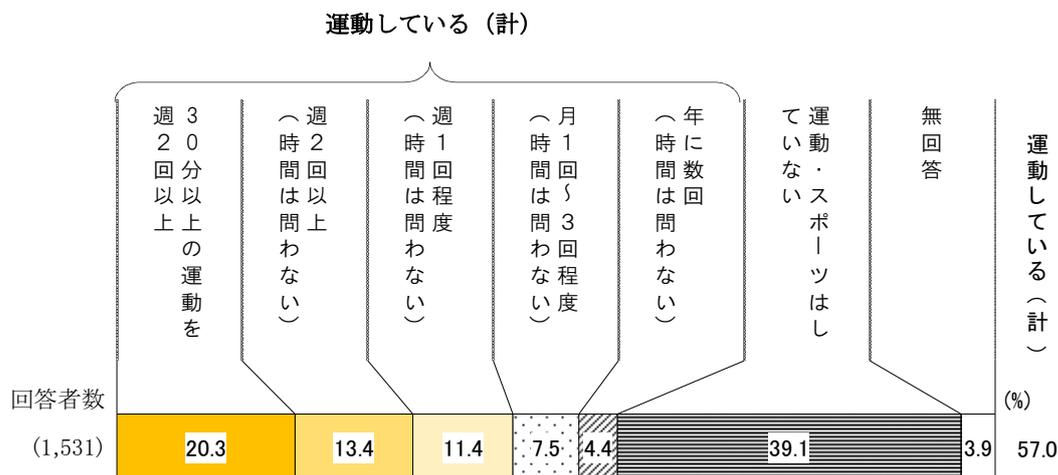


スポーツ・読書について

- 1 運動・スポーツの実践頻度について高い順にみると、以下のとおりとなっています。
 - ①「30分以上の運動を週2回以上」(20.3%)
 - ②「週2回以上(時間は問わない)」(13.4%)
 - ③「週1回程度(時間は問わない)」(11.4%)
 - ④「月1回～3回程度(時間は問わない)」(7.5%)
 - ⑤「年に数回(時間は問わない)」(4.4%)
- 2 上記5項目を合わせた【運動している】は57.0%となっており、「運動・スポーツはしていない」は39.1%となっています。

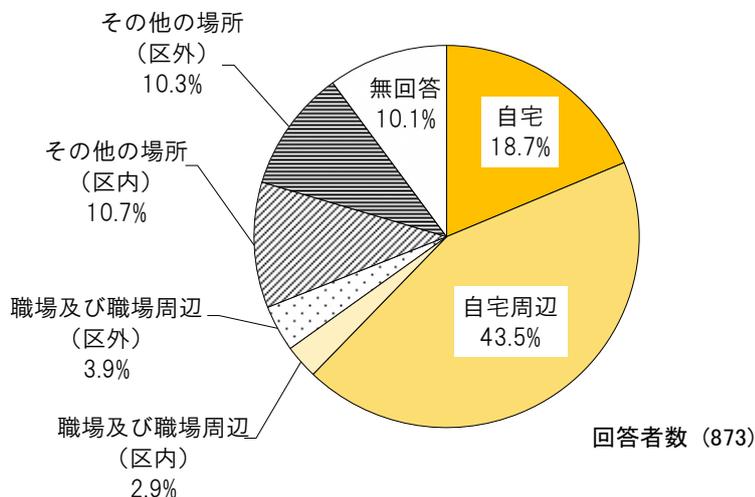
日常的な運動・スポーツの実施状況

「運動・スポーツはしていない」という人は4割となっています。



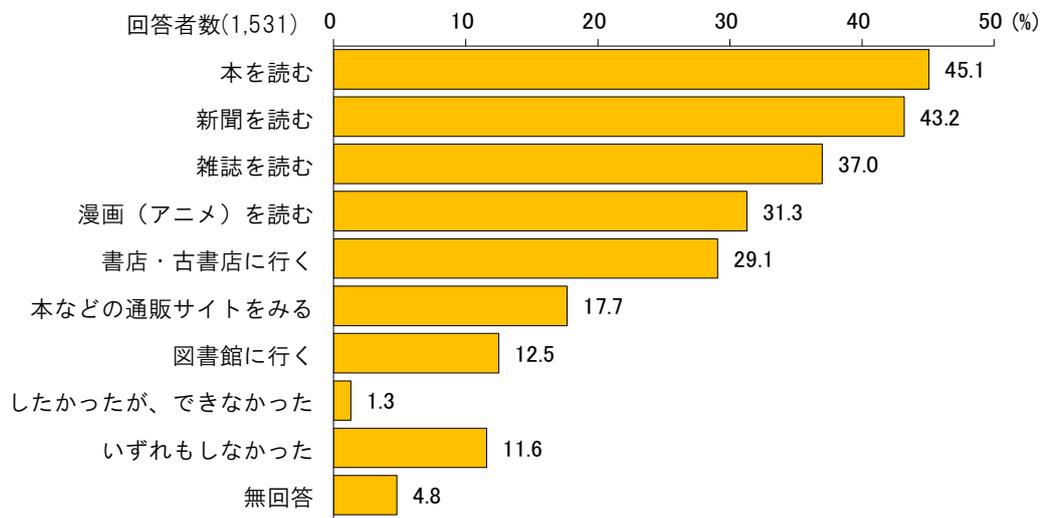
運動・スポーツを最も多く行っている場所

運動・スポーツの実施場所は、「自宅周辺」が4割台半ばで最も高くなっています。



🏠 読書に関わる行動状況（複数回答）

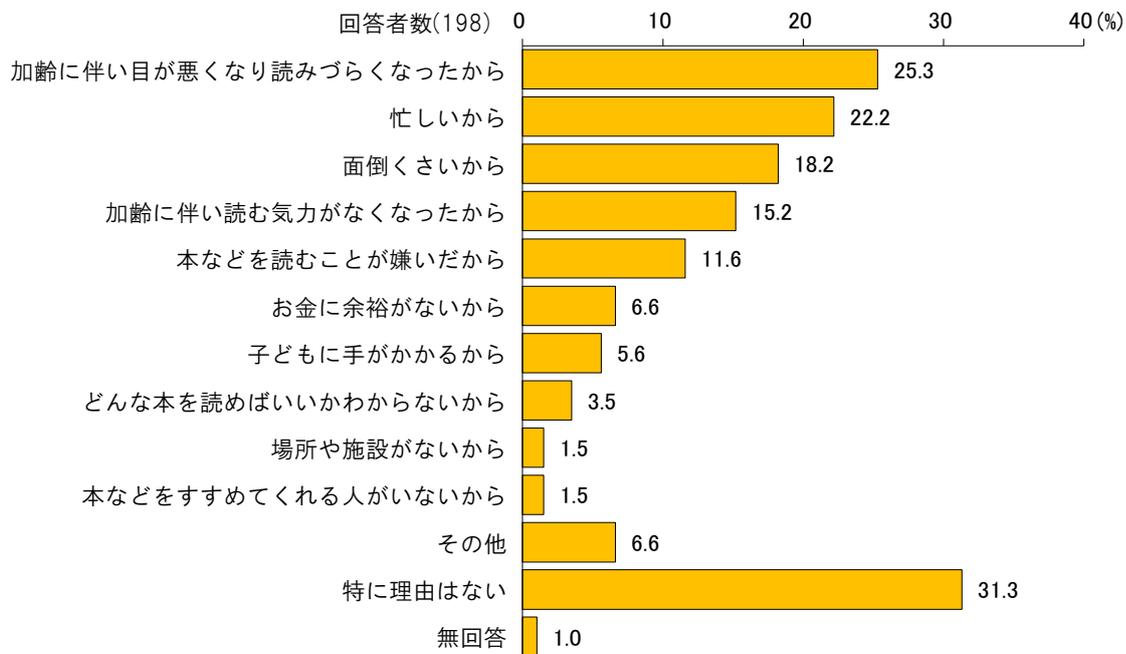
「新聞を読む」が4ポイント減少し、代わって「本を読む」が4割台半ばで最上位となりました。



🏠 読書に関わる行動をできなかった・しなかった理由（複数回答）

※読書に関わる行動ができなかった人の回答

「加齢に伴い目が悪くなり読みづらくなったから」が2割台半ばで最も高く、「忙しいから」が2割強で次点となっています。

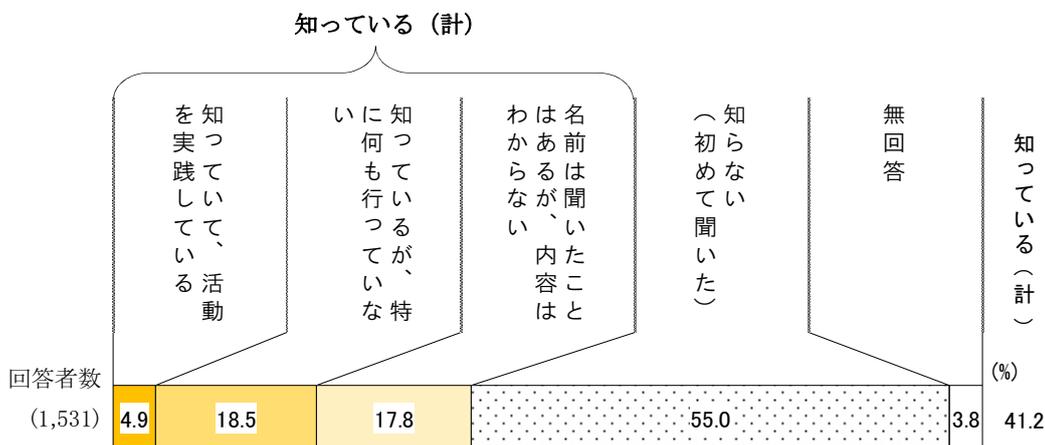


ビューティフル・ウィンドウズ運動

- 1 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は4.9%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」(18.5%)と「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」(17.8%)を合わせた【知っている】は41.2%となっています。
- 2 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知らない(初めて聞いた)」は5割台半ばとなっています。
- 3 前回の令和3年調査との比較では、【知っている】が3.3ポイント減少しました。

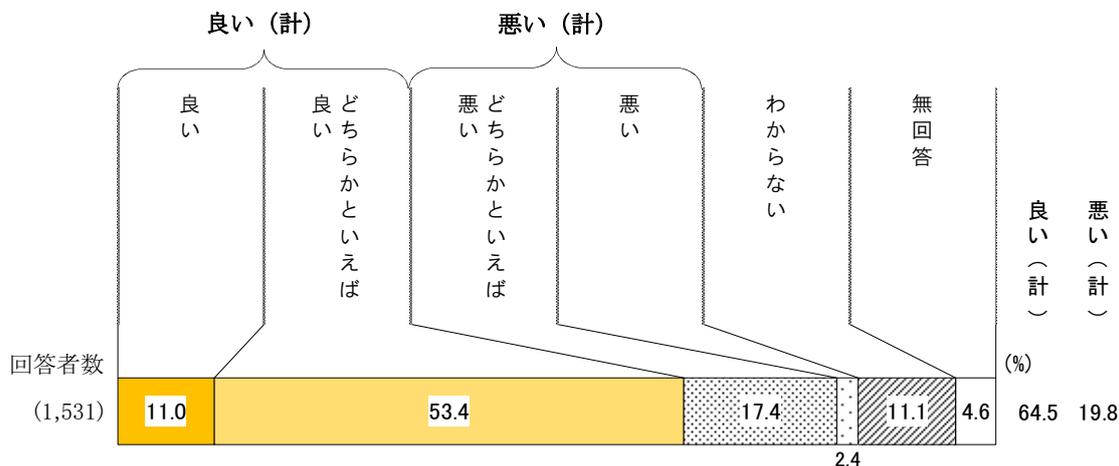
「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

【知っている】が4割超えで、「知らない(初めて聞いた)」が5割台半ばとなっています。



居住地の治安状況

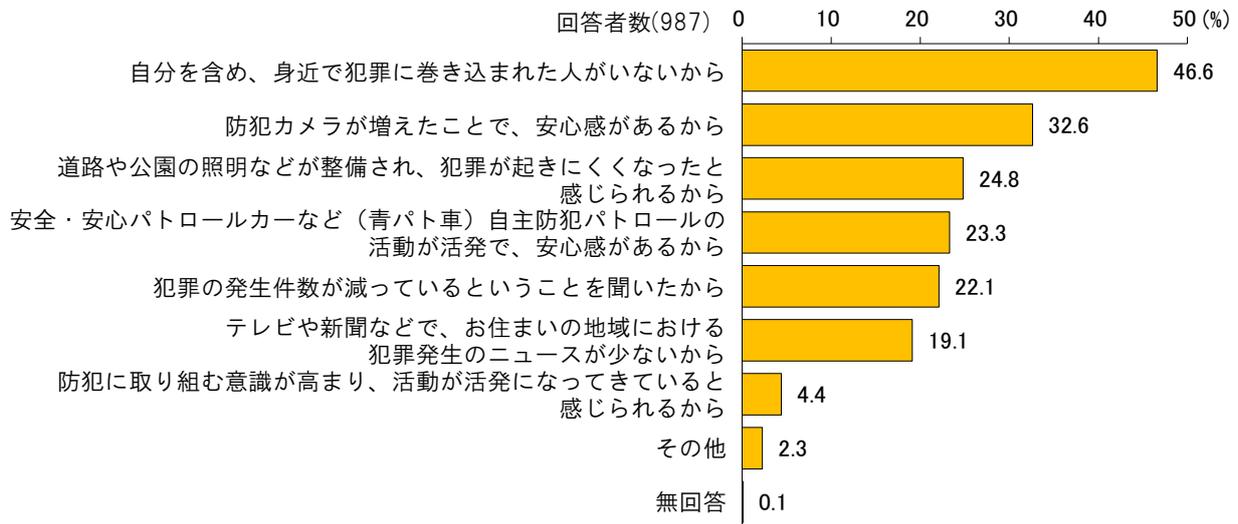
【良い】が6割台半ばで最高値を更新し、【悪い】は平成23年調査開始以降で初めて2割を下回りました。



🏠 治安が良いと感じる点（〇は2つまで）

※区内の治安が【良い】と感じる人の回答

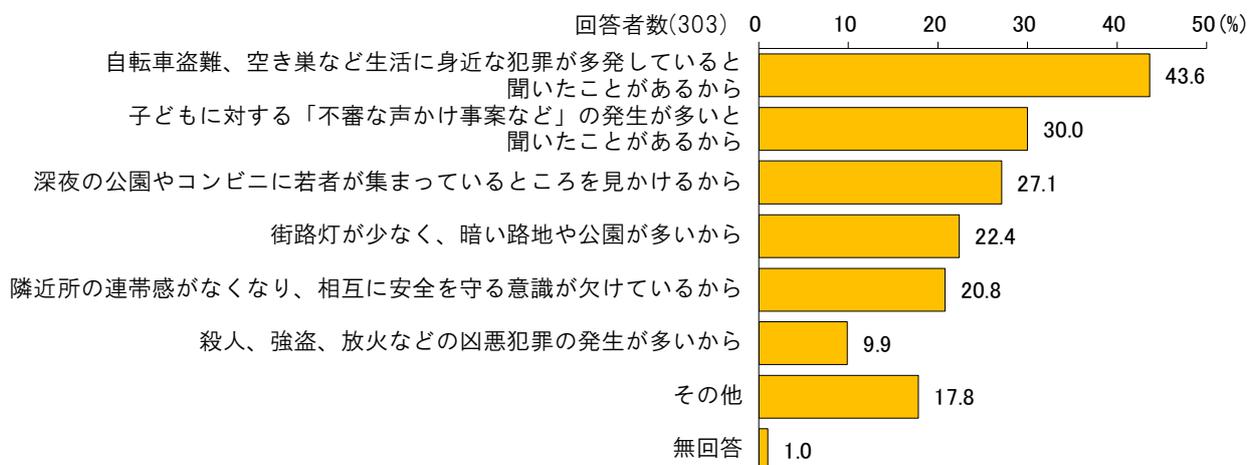
「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が4割台半ばで最も高いものの漸減傾向となっています。



🏠 治安が悪いと感じる点（〇は2つまで）

※区内の治安が【悪い】と感じる人の回答

「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」が4割台半ば近くで最も高くなっています。

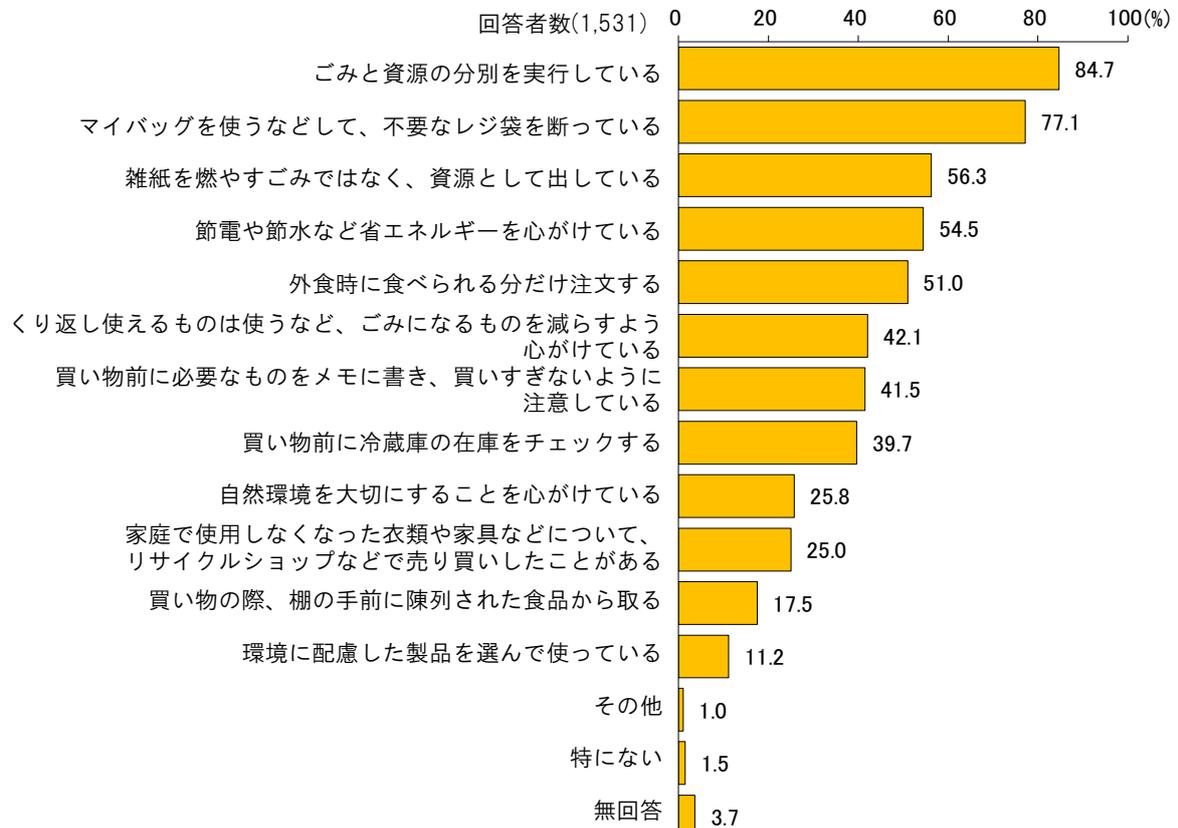


環境・地域活動

- 1 環境のために心がけていることの上位をみると、以下のとおりとなっています。
- ①「ごみと資源の分別を実行している」(84.7%)
 - ②「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(77.1%)
 - ③「雑紙を燃やすごみではなく、資源として出している」(56.3%)
 - ④「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(54.5%)
 - ⑤「外食時に食べられる分だけ注文する」(51.0%)
- 2 経年でみると、上位4項目は前年と順位が変わりませんが、今回調査で新設された「外食時に食べられる分だけ注文する」が第5位となっています。前回調査と比較可能な項目での増減をみてみると、「ごみと資源の分別を実行している」(前回調査87.7%)が3.0ポイント、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(前回調査79.3%)が2.2ポイントそれぞれ減少し、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(前回調査48.2%)が6.3ポイント増加しています。

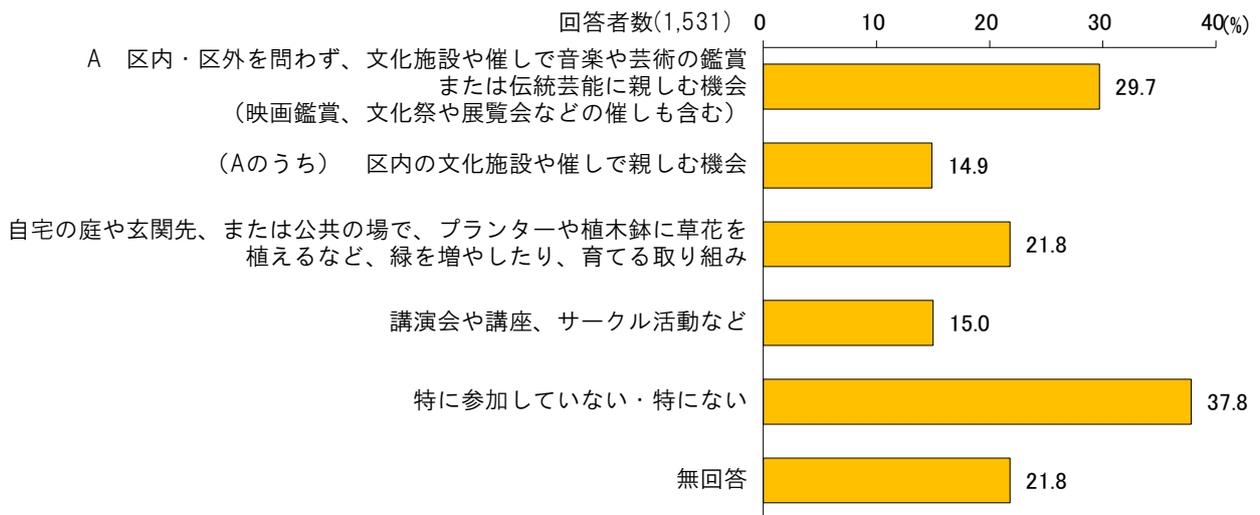
環境のために心がけていること（複数回答）

「ごみと資源の分別を実行している」が8割台半ばで最も高く、次いで「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」が7割台半ばを超えています。



🏠 今後参加したいと思う活動（複数回答）

「特に参加していない・特にない」が約4割で最も高くなっていますが、引き続き、または今後参加したい活動としては、イベント等のオンラインでの開催や施設での開催に係る制限の緩和もあって、「区内・区外を問わず、文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会（映画鑑賞、文化祭や展覧会などの催しも含む）」（前年調査24.8%）が4.9ポイント増加しており、他の項目も軒並み微増しています。

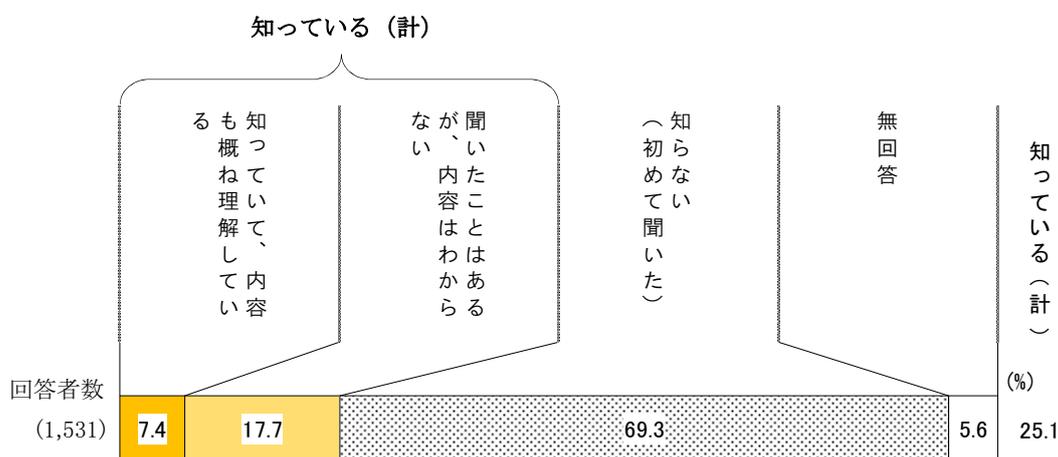


「孤立ゼロプロジェクト」など

- 1 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況は、「知っていて、内容も概ね理解している」が7.4%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の17.7%を合わせた【知っている】は25.1%となっています。
- 2 「孤立ゼロプロジェクト」を「知らない（初めて聞いた）」は69.3%を占めています。
- 3 経年でみると、認知状況の回答割合に大きな変動はみられないものの、【知っている】は令和元年調査以降微減傾向となっています。

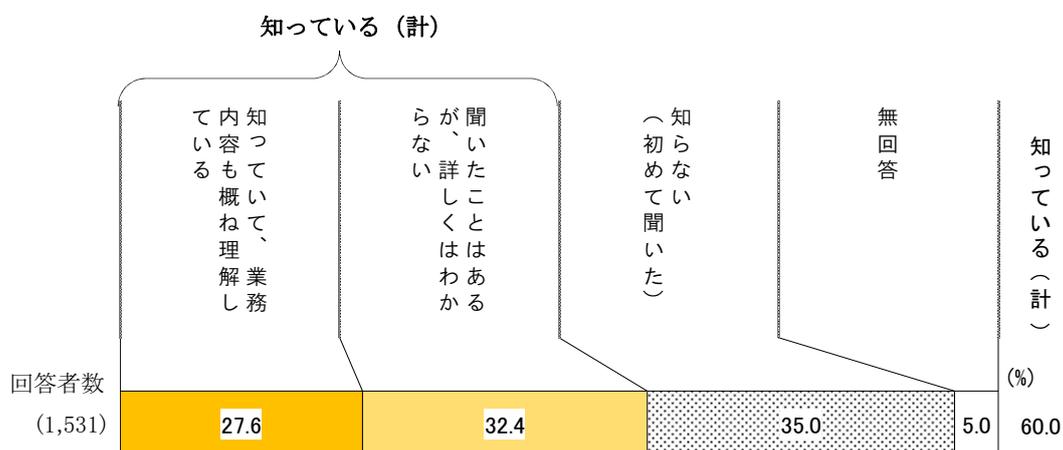
「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

【知っている】が2割台半ばで、「知らない（初めて聞いた）」は約7割となっています。



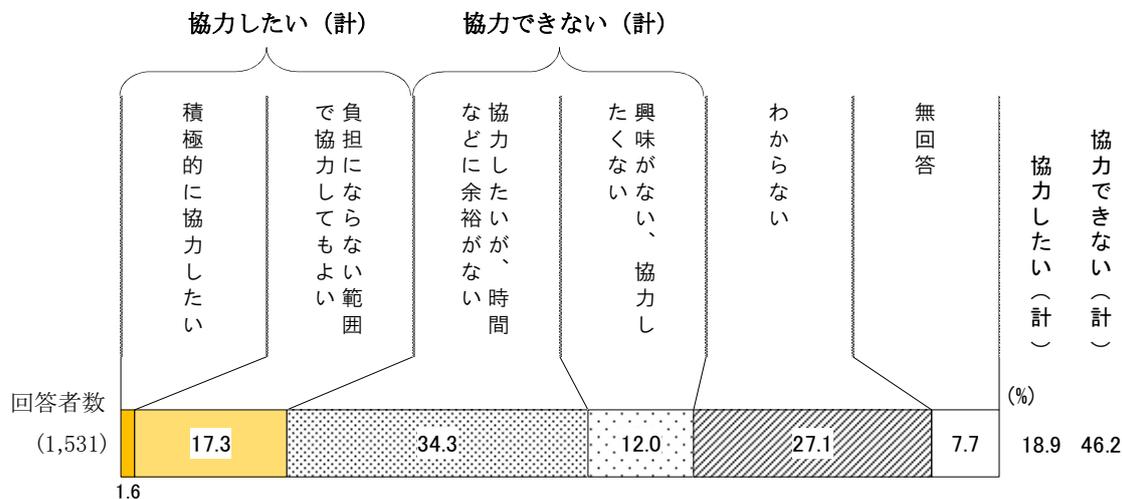
「地域包括支援センター」の認知状況

【知っている】は漸増が続き、初めて6割台となりました。



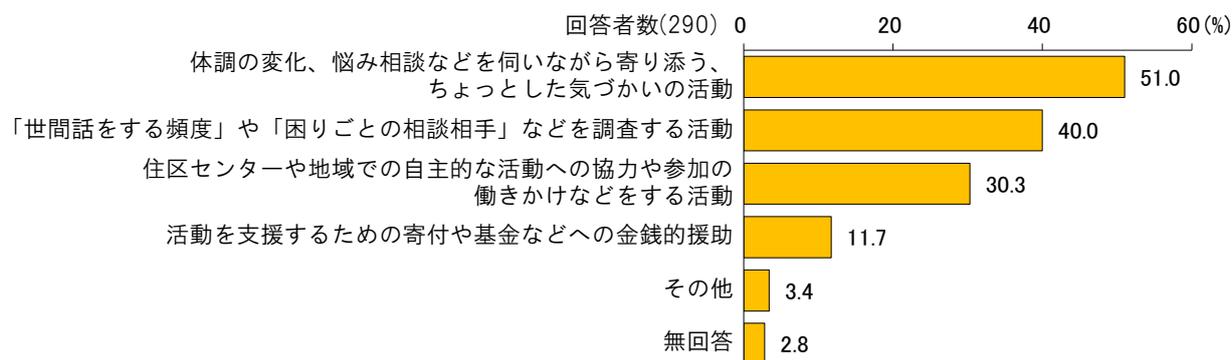
高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

【協力したい】は2割弱で、前回調査から微減しました。



協力意向がある活動内容 (複数回答)

「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」が5割強で最も高く、次いで「『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動」が4割となっています。

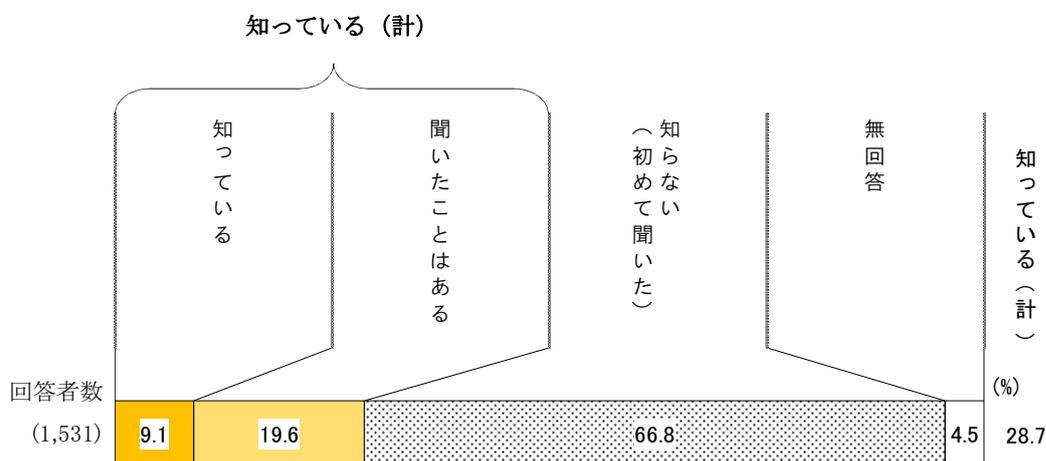


「協働・協創」・「SDGs」

- 1 「協創」について「知っている」が9.1%で、これに「聞いたことはある」(19.6%)を合わせた【知っている】は28.7%となっています。一方、「知らない(初めて聞いた)」は66.8%を占めています。
- 2 経年でみると、【知っている】は平成29年の13.0%から漸増傾向にありましたが、今回調査では、前回調査(19.8%)から8.9ポイントと大幅に増加しました。

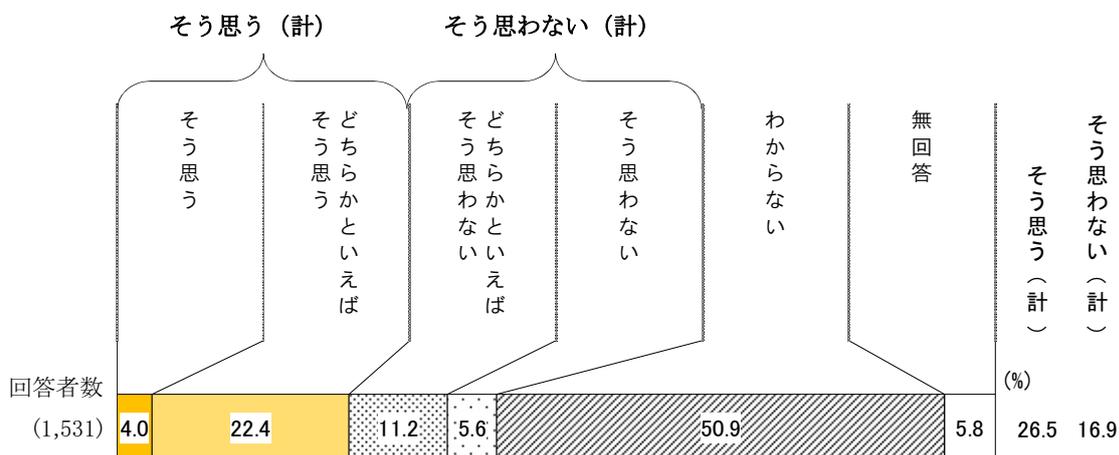
「協創」の認知

【知っている】は平成29年の調査開始以降、漸増傾向でしたが、今回調査では前回から8.9ポイントと大幅に増加しました。



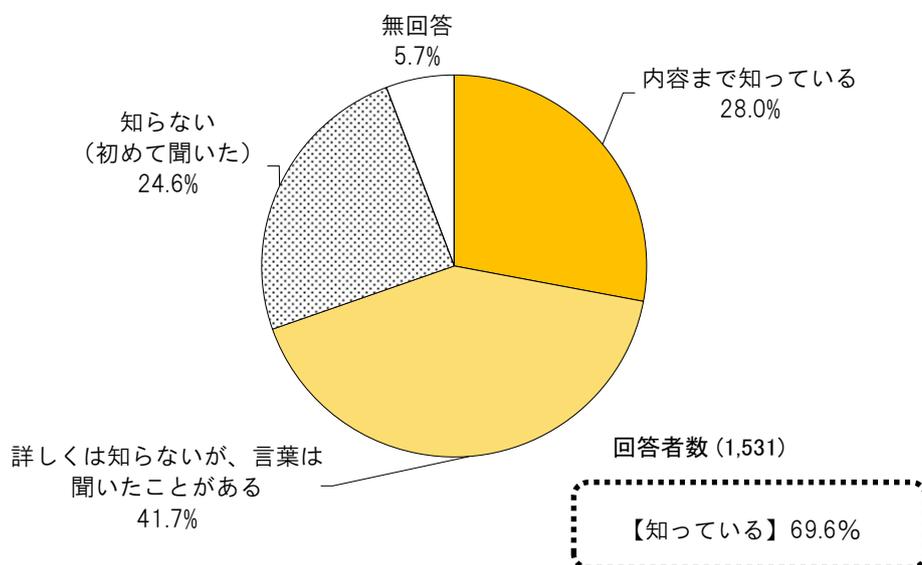
区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

【そう思う】が2割台半ばで、【そう思わない】を10ポイント上回っているものの、「わからない」が5割を占めています。



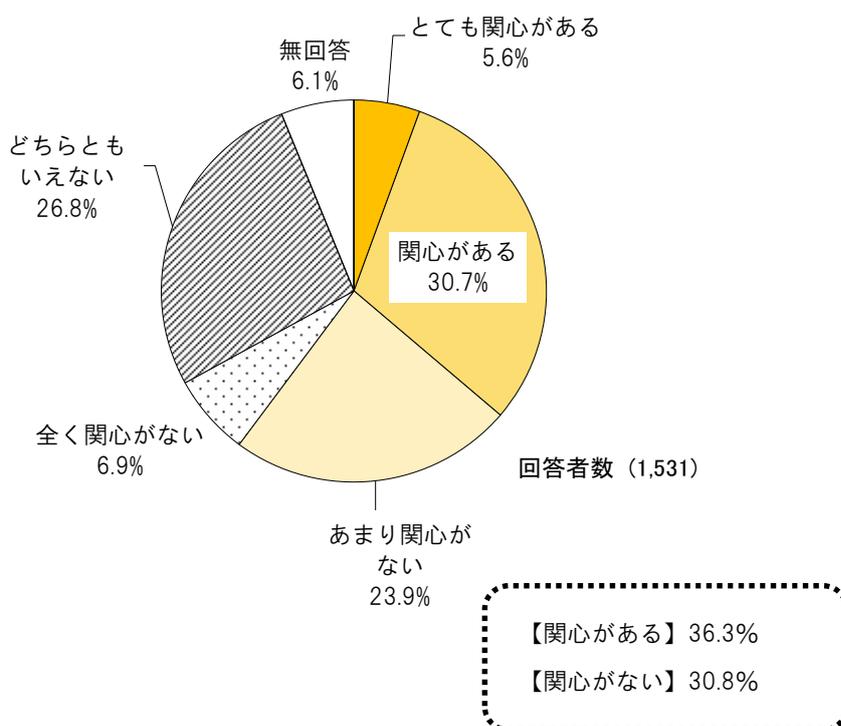
SDGsの認知状況

「内容まで知っている」が3割弱で、「詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある」（4割強）を合わせた【知っている】は約7割となっています。



SDGsの関心状況

「関心がある」が約3割で最も高く、これに「とても関心がある」を合わせた【関心がある】は3割台半ばとなっています。



区への取り組み

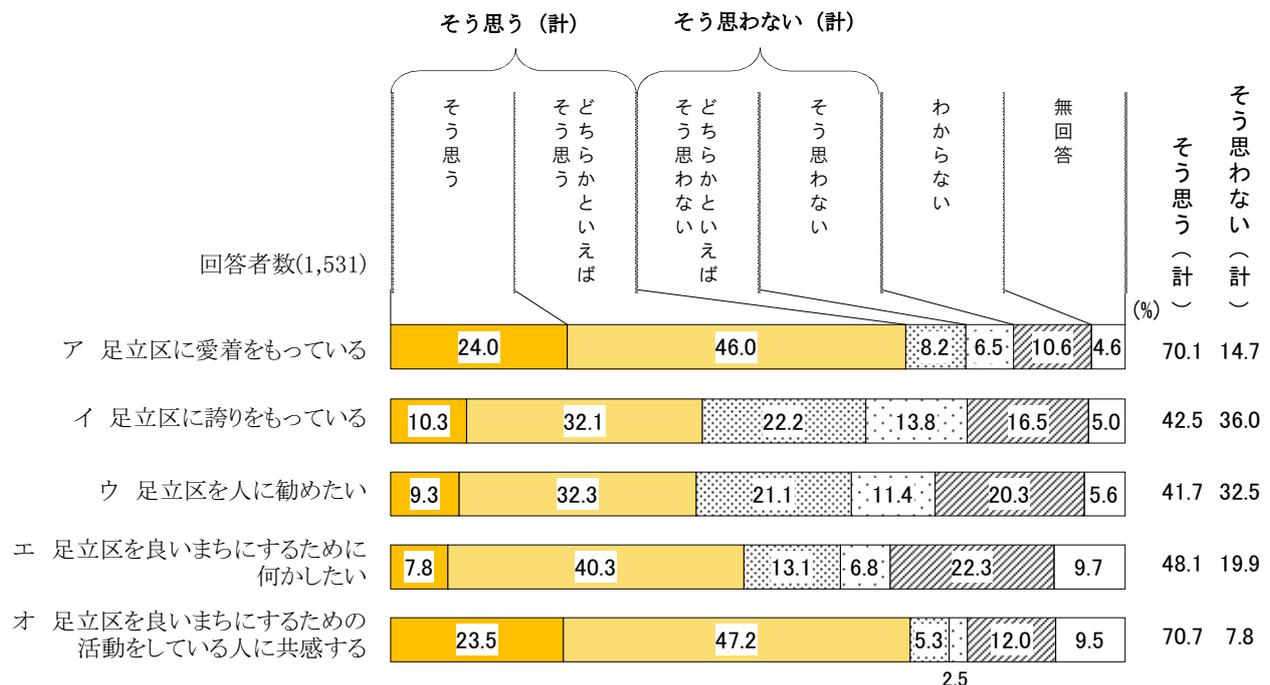
- 区に対する気持ちについて計5項目にわたって聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】を高い順にみると、以下のとおりでした。
 - 〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉(70.7%)
 - 〈足立区に愛着をもっている〉(70.1%)
 - 〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉(48.1%)
 - 〈足立区に誇りをもっている〉(42.5%)
 - 〈足立区を人に勧めたい〉(41.7%)
- 区への取り組みについて、満足度(現状評価)と重要度を聞いたところ、「満足(重要)」と「やや満足(やや重要)」を合わせた【満足(重要)】を上位5位でみると、以下のとおりでした。

満足度				重要度			
1	↑	情報提供	78.4%	1	↑	交通対策	83.7%
2	⇒	資源環境対策	78.3	2	↓	治安対策	83.1
3	↓	職員の接客態度	76.4	3	↑	防災対策	82.8
4	⇒	自然・緑化対策	73.1	4	↓	資源環境対策	81.8
5	⇒	保健衛生対策	71.1	5	↑	自然・緑化対策	81.1

※ 矢印は前回順位との比較

区に対する気持ち

区に対する気持ちについて【そう思う】は、“足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する”と“足立区に愛着をもっている”がともに7割で高くなっています。



区の取り組みに対する満足度と重要度

各分野の取り組みへの現状評価（満足度）と重要度意識の各選択肢に得点をつけ、現状評価（満足度）、重要度の評価点を算出しました。これによって、区民の現状評価（満足度）や重要度意識を明確に捉え、分析することができます。

その結果、各取組に対する満足度と重要度の関係は下記散布図のとおりです。

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が特に高く、「交通対策」は満足度が低くなっています。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

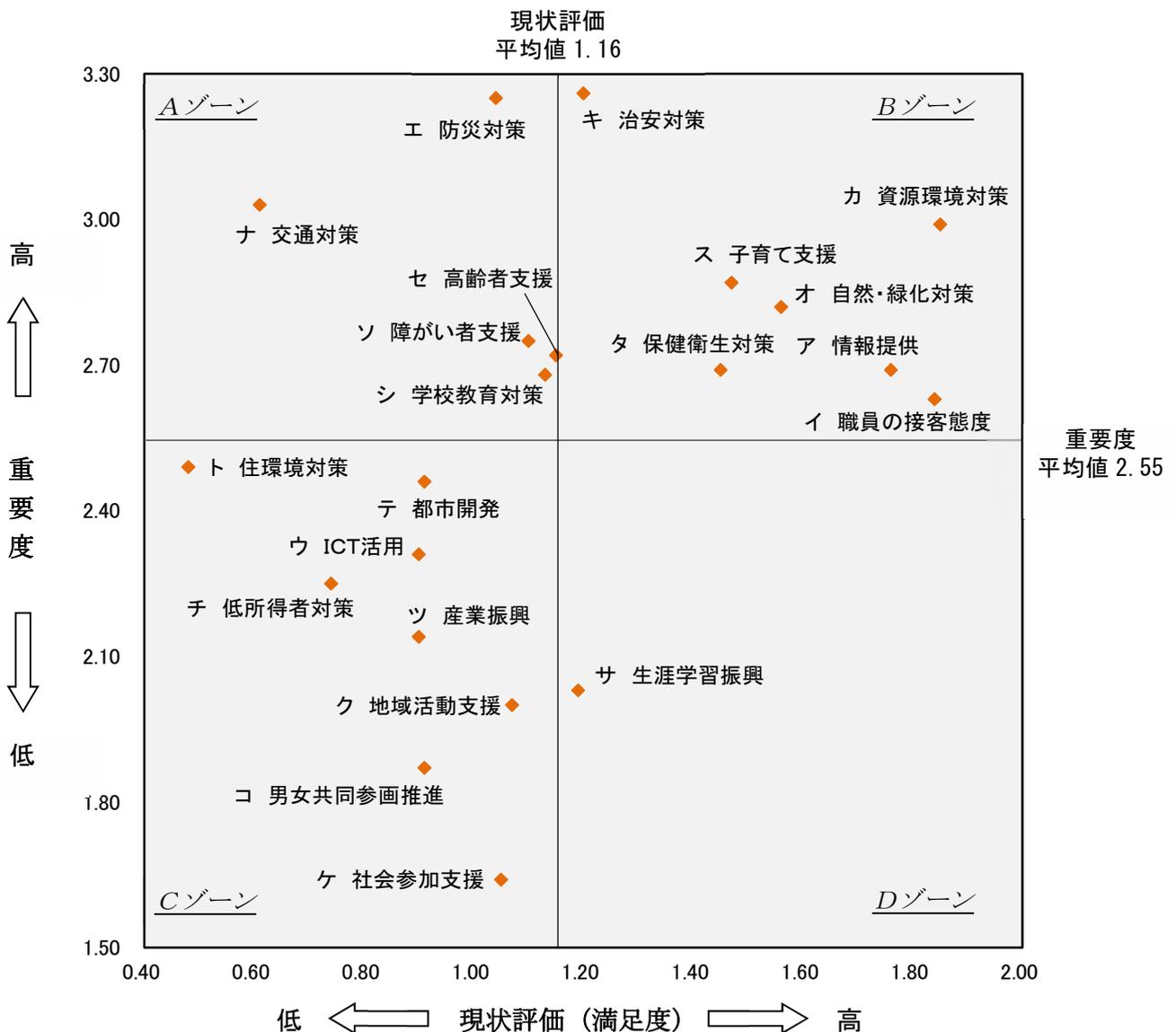
「資源環境対策」「職員の接客態度」の満足度が特に高く、「情報提供」でも満足度は高くなっています。「治安対策」は重要度が特に高くなっています。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」の満足度、「社会参加支援」は重要度が特に低くなっています。

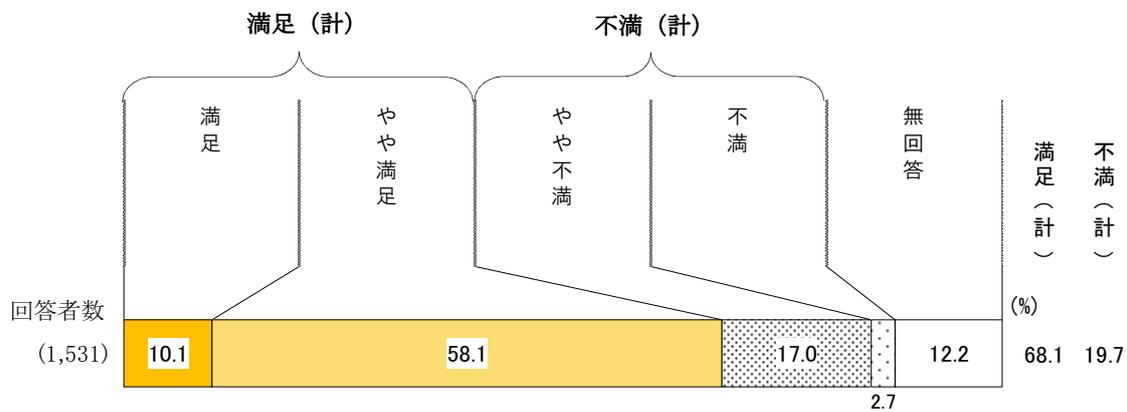
D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「生涯学習振興」があげられています。



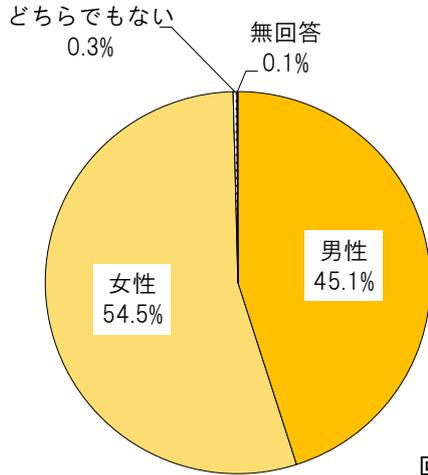
区政に対する満足度

区政全体に対する【満足層】（「満足」＋「やや満足」）は7割弱で現行と同じ聴取方法となった平成25年以降で最も高い割合となりました。

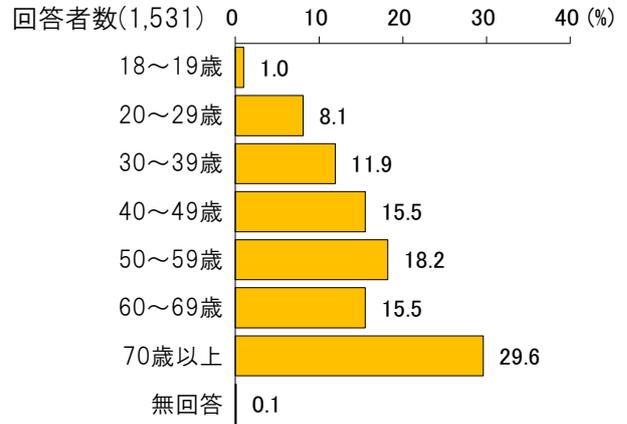


標本構成

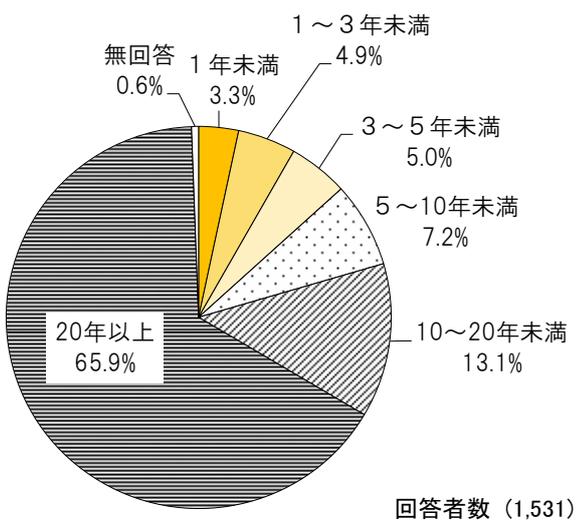
性別



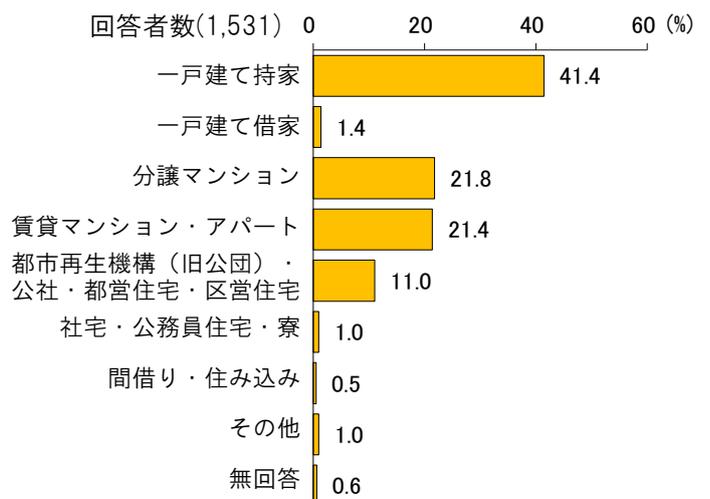
年齢



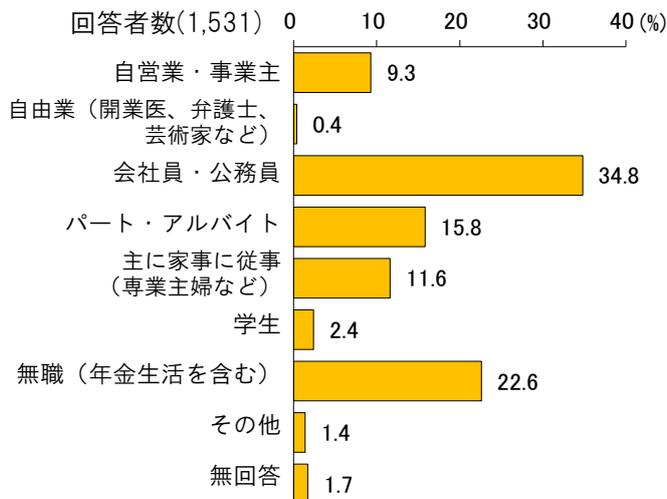
居住年数



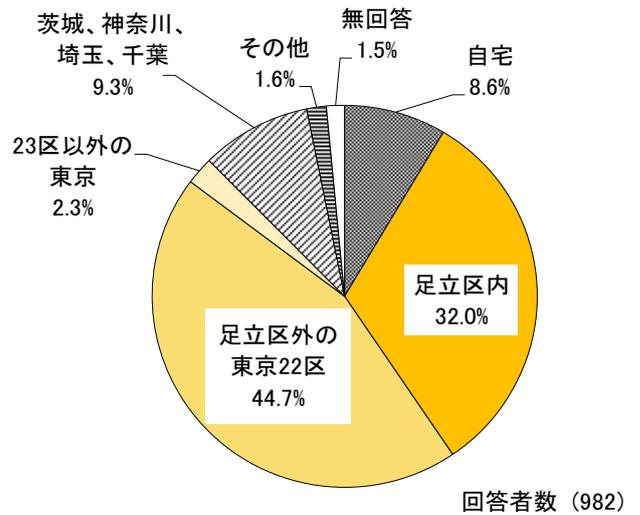
住居形態



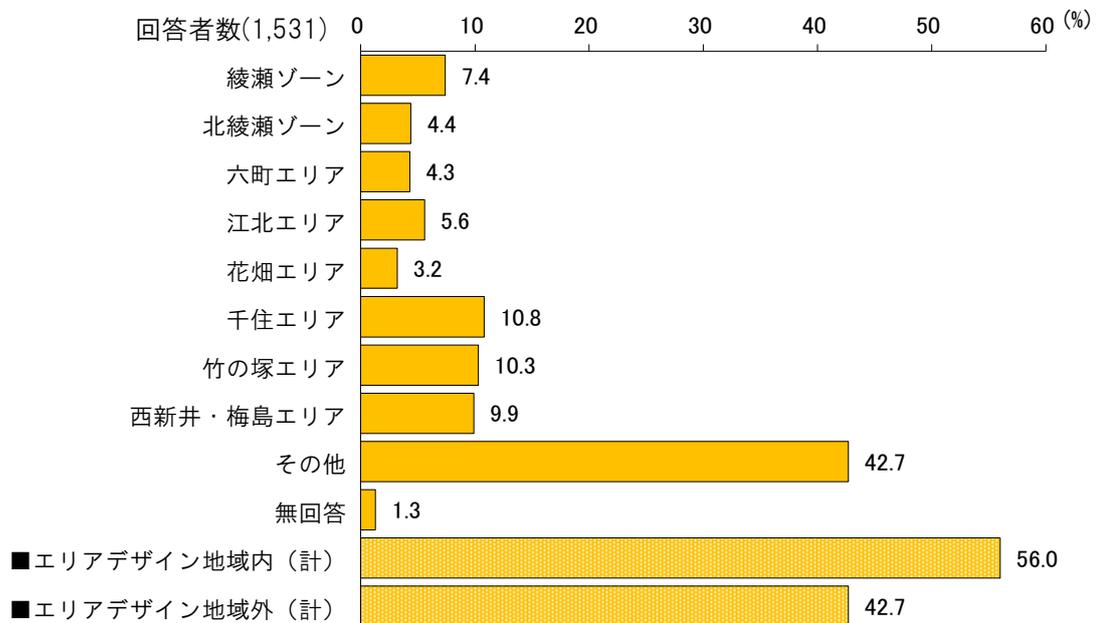
職業



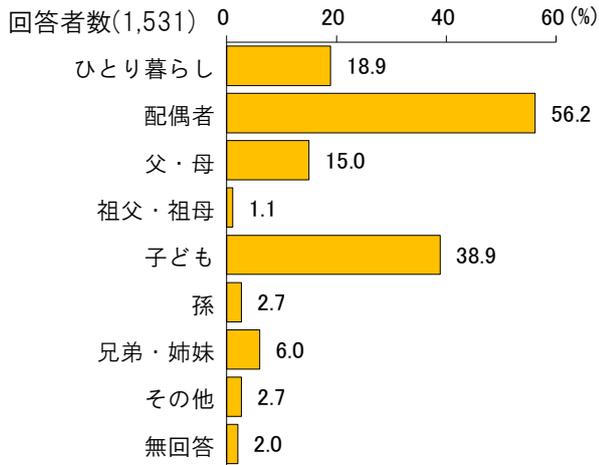
就労 (就学) 場所



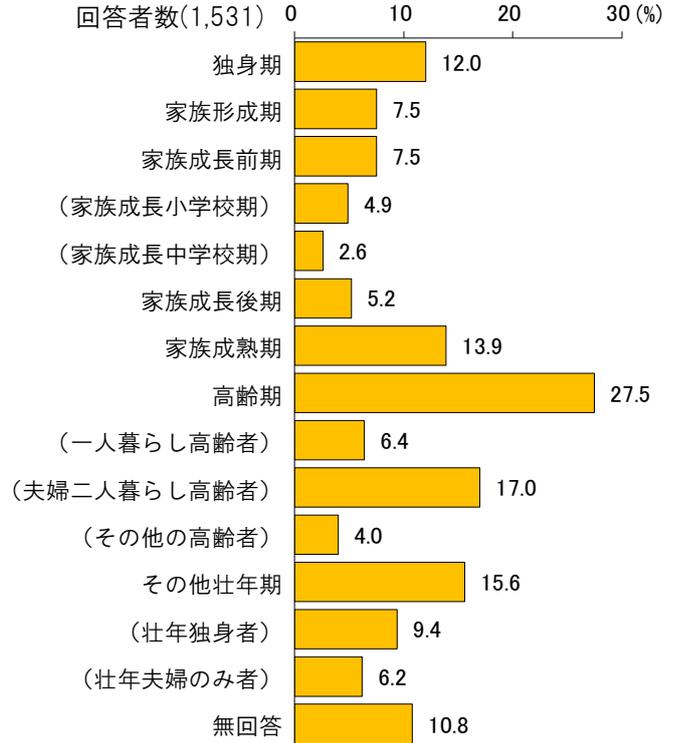
エリアデザイン



同居家族（複数回答）



ライフステージ



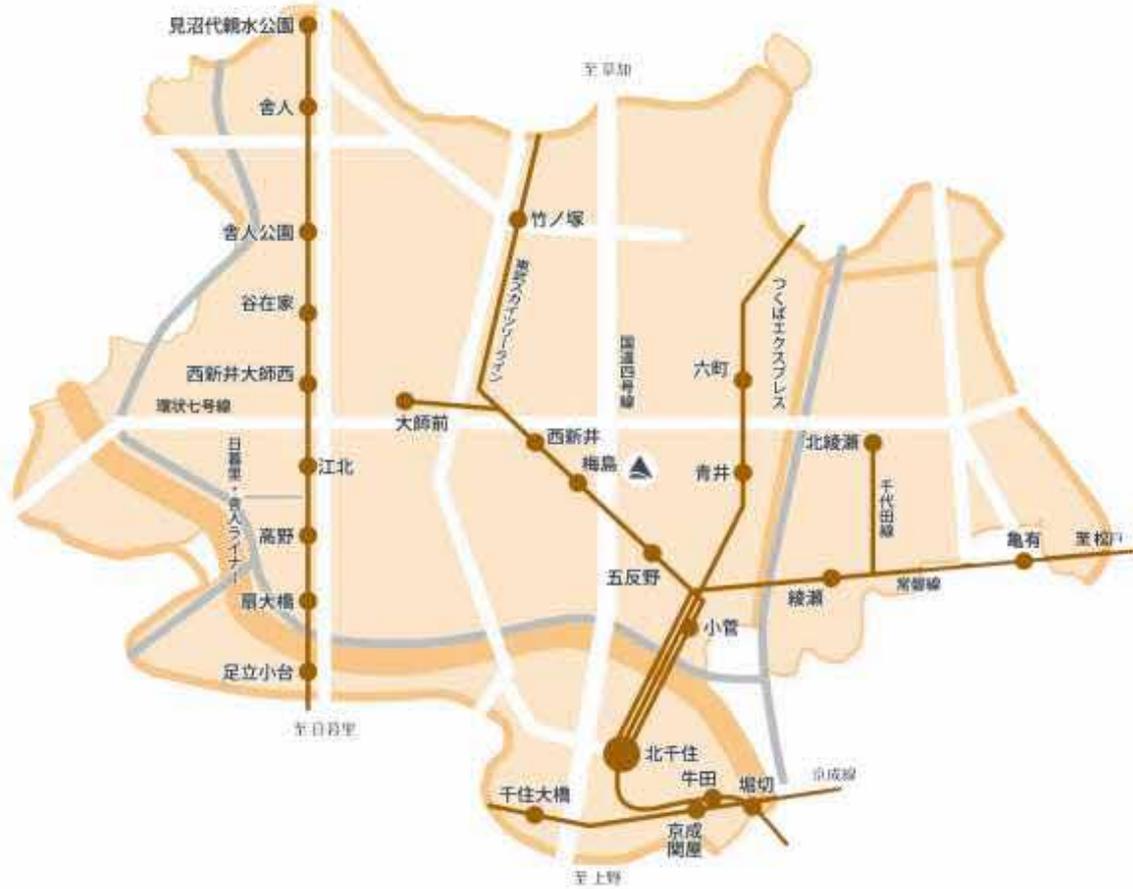
《 ライフステージの定義 》

ライフステージ別（7カテゴリー）

- ・ 独身期 40歳未満の独身者
- ・ 家族形成期 40歳未満で子どものいない夫婦、または本人が64歳以下で一番上の子どもが小学校入学前の人
- ・ 家族成長前期 本人が64歳以下で一番上の子どもが小・中学生の人
 - (家族成長小学校期) 本人が64歳以下で一番上の子どもが小学生の人
 - (家族成長中学校期) 本人が64歳以下で一番上の子どもが中学生の人
- ・ 家族成長後期 本人が64歳以下で一番上の子どもが高校生・大学生の人
- ・ 家族成熟期 本人が64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- ・ 高齢期 本人が65歳以上の人
 - (一人暮らし高齢者) 本人が65歳以上で一人暮らしの人
 - (夫婦二人暮らし高齢者) 本人が65歳以上で夫婦二人暮らしの人
 - (その他の高齢者) 本人が65歳以上で一人暮らし、夫婦二人暮らし以外の人
- ・ その他壮年期 本人が40歳～64歳で独身、または本人が40歳～64歳で子どものいない夫婦
 - (壮年独身者) 本人が40歳～64歳で独身
 - (壮年夫婦のみ者) 本人が40歳～64歳で子どものいない夫婦

足立区の面積 53.25km²
人口 690,114人
世帯 365,583世帯

*令和5年1月1日現在



足立区は、東京都23区の最北端に位置し、区域の総面積は23区域総面積の約一割にあたり大田区、世田谷区について第三位の広さです。東は葛飾区に、西は北区、埼玉県川口市に、南は葛飾区、墨田区、荒川区に、北は埼玉県川口市、草加市並びに八潮市にそれぞれ隣接しています。



足立区 政策経営部 区政情報課

〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1
TEL 03(3880)5111(代)

世論調査報告書の《概要版》、本編、《集計表》は足立区ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス<https://www.city.adachi.tokyo.jp> 足立区 政策経営部 区政情報課

この概要版は再生紙を使用しています。